

平成22年度 仕事と生活の両立支援プログラム実施状況報告

～次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画～

平成23年8月

大 田 区

1 目的

「仕事と生活の両立支援プログラム」について、平成22年度の実施状況を取りまとめ、平成22年5月に策定した「仕事と生活の両立支援プログラム（～次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画（後期計画）～）」における着実な実施に役立てるため、報告するものです。

2 取組み状況

（1）プログラムの周知

区ホームページ及びグループウェアに掲載することにより周知を図っています。

（2）各種制度の周知

母性保護、育児休業、介護休暇、休暇、超過勤務の制限などの各種制度をまとめた「サービス等の手引き」をグループウェアに掲載することにより周知を図っています。

平成22年6月30日から適用した育児休業制度の変更及び短期の介護休暇の新設等について、「サービスの手引き」を改正するとともに、新設・変更となった部分について、例示やQ & A形式を取り入れた内容の通知をグループウェアに掲載することにより周知を図りました。

平成23年1月に稼動した庶務事務システムでは、育児・介護に関する休暇等を電子申請とし、各種申請に応じた制度の概要や手続き方法について申請画面に表示しました。また、職員が出産から育児休業までを申請する場合に、申請画面の質問に答えることにより必要な申請ができるようメニューを設置しました。

（3）配置等に関する配慮

職員の育児・介護等に配慮した配置管理を行っています。

また、昇任選考の実施時に一時保育を実施しています。（平成22年度の実績は申込2件、児童4人）

（4）健康管理等における取組み

産業医による超過勤務労働者（月の超過勤務が80時間を超える者）への面接指導を平成21年10月から実施しています。

3 取得状況等

(1) 出産、育児に関する休暇等取得状況 (平成 22 年度)

休暇等の種類	女性	男性	合計
育児休業 (取得率)	67 名(97.1%) [66 名(98.5%)]	5 名(10.9%) [1 名(2.8%)]	72 名(62.6%) [67 名(65.0%)]
育児短時間勤務	2 名 [3 名]	0 名 [0 名]	2 名 [3 名]
部分休業	22 名 [19 名]	0 名 [0 名]	22 名 [19 名]
育児時間	27 名 [19 名]	1 名 [0 名]	28 名 [19 名]
子の看護のための 休暇	156 名 [132 名]	181 名 [127 名]	337 名 [259 名]
出産支援休暇		32 名 [36 名]	32 名 [36 名]
育児参加休暇		24 名 [-]	24 名 [-]
男性職員が、子の出生時に 5 日間以上の連続休暇を取得		14 名 [3 名]	14 名 [3 名]

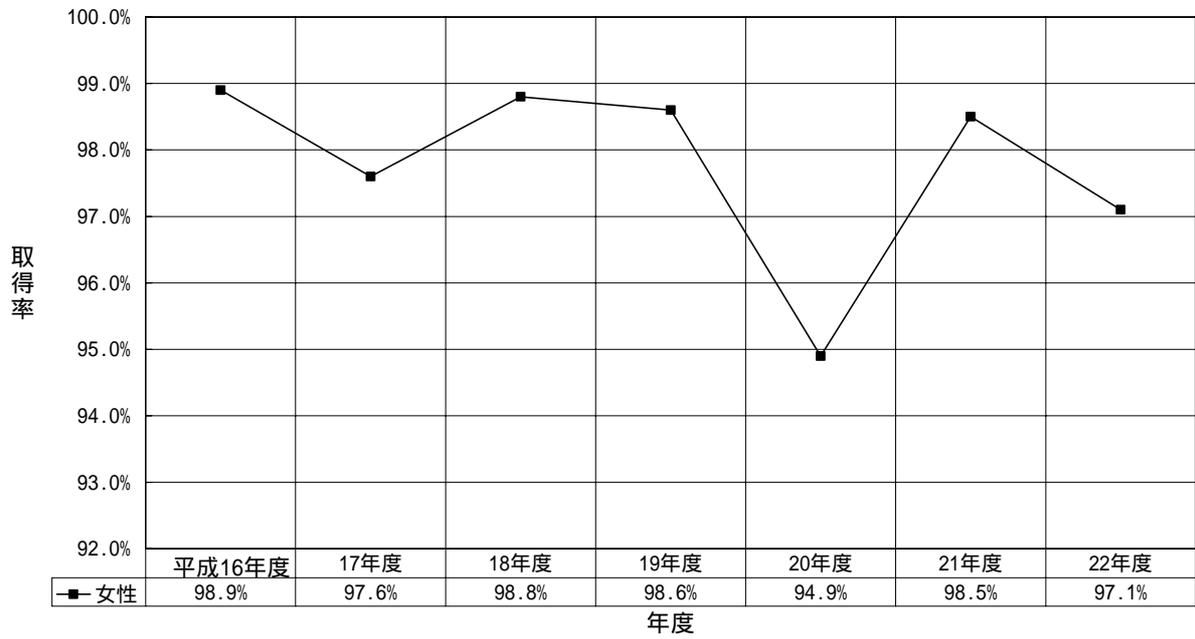
育児時間、子の看護のための休暇、出産支援休暇は平成 22 年の状況です。

下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

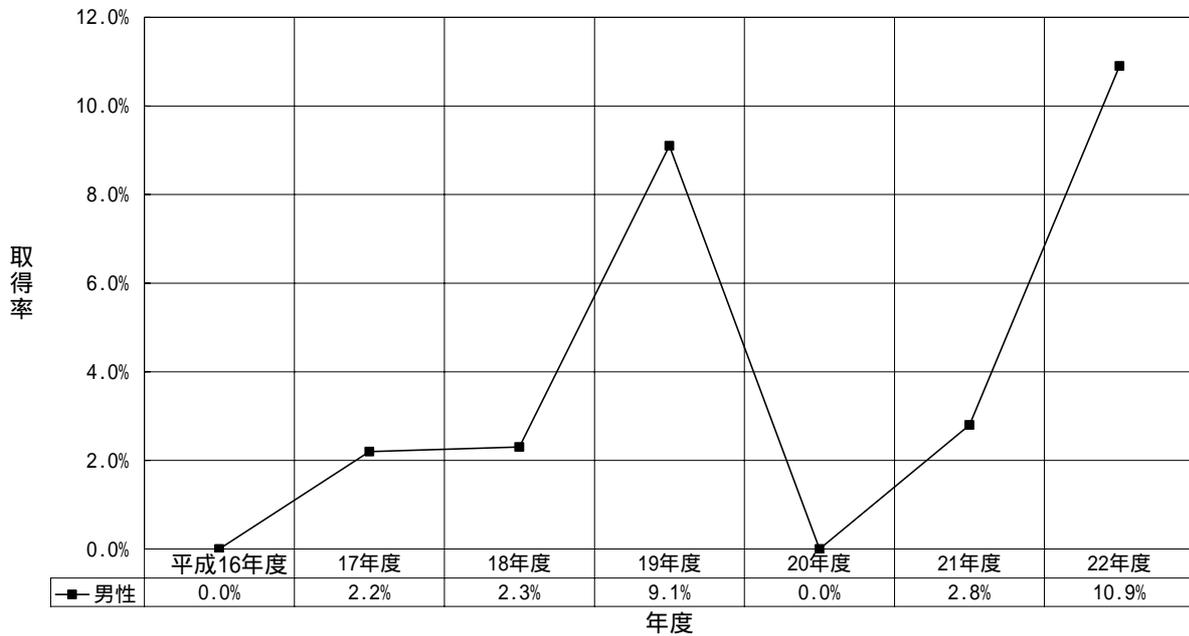
育児参加休暇は、平成 22 年 6 月 30 日から実施

(2) 育児休業の取得率の推移 (男女別)

女性職員



男性職員



(3) 介護に関する休暇等取得状況 (平成 22 年度)

休暇等の種類	女性	男性	合計
介護休暇	10 名 [13 名]	0 名 [5 名]	10 名 [18 名]

下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

(4) 年次有給休暇の取得状況 (平成 22 年)

休暇等の種類	取得日数
年次有給休暇	15.7 日 [16.6 日]

下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

(5) 健康診断等の受診状況 (平成 22 年度)

内 容	受診率	備考
健康診断	90.4% [89.2%]	
人間ドック	6.2% [7.5%]	人間ドックを受診し、健康診断を受診しなかった者
合 計	96.6% [96.7%]	

下段[]内の数字は前年度の受診状況です。